

# 測量・地図の基礎講座「TSによる測量観測技術の基礎」コース受講報告

工作部門 土木建築実験機器管理班 松山利和

## 1. はじめに（目的）

一昨年度から工学部第四類社会基盤を専攻している学生が受講する測量学実習のサポートする業務依頼を受けており、これまでに測量の経験がない私は実習中の測量器械を安全に使用するよう指導するほか、それらの器械の管理を行うよう業務指示を受けてきた。

しかし今年度から教員の数が減ったこともあり講義の中で様々な測量の説明を担当することになったが、用意された資料を引き継いで説明するだけで測量やそれに関する器械の知識が疎く、自己評価はあまり高くなかった。

そこで測量の基礎でもあるトータルステーション（以下 TS）の基礎を本講習会で体得し、次年度以降の実習で学生にわかりやすく教えることができるようになることを目的とし、本講習会を受講することとした。

## 2. 期間・場所

期間：令和5年10月17日（火） 9:30～16:30

場所：パークコート文京小石川ザタワー 5F 第1研修室

## 3. 参加者等

16名

## 4. 研修内容

- 実習前解説  
TSの特徴、三脚の捉え方、方向観測法とは、手簿の記載方法など
- 器械の設置・整準方法
- TSによる観測実習
- 観測計算・演習・観測手簿～座標・高低計算

## 5. まとめと感想

本学の実習の中でも行う観測方法だったため予備知識はあったものの詳しいことは

知らないことも多く、TSの基本的な機能や原理のみならず、これまでの測量器械の歴史や最新技術なども学ぶことができた。三脚の設置や観測器械の整準方法などの実技講習を受けることができ、実習内容に活かせるコツなども教示してもらえた。

学生に測量や測量方法のことをわかりやすく、なるべく簡単に設置・整準できるように本講習会で体得した知識や技術、コツを活かしていきたい。